

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 390 回 「メモリアル:初体験」の薦め！

2010.11.7

... 青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。
優れた創造力、逞(たくま)しき意志、燃ゆる情熱、
怯懦(きょうだ)を却(しりぞ)ける勇猛心、
安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ。
年を重ねただけで人は老いない。
理想を失うときに初めて老いがくる。
歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失うときに精神はしばむ。(略) ...
ご存知、サミュエル・ウルマン(Samuel Ullmann)の「青春の詩」の一説である。

実年齢がアラサー(around 30)、アラフォー(around 40)であろうと、熱意や夢や挑戦も無く、何となく、
ついでに生きているような奴には、どこにも若さを感じない。

... 「若さ」とは年齢では決まらない。
生命の力、生命の勢いで決まる。
希望ある人は、いつまでも若い。
前進する人は、いつまでも美しい。 ...とは、
小生、創価学会員ではないが、池田大作氏の言葉である。

「先生って、おいくつなのかしら、ひょっとして、30歳代ですかあ〜」
少し暗い店へ行くと、よく言われる。世辞だとは分かっているが、悪い気はしない。
(イヤイヤ、チョイと言い過ぎて、正直、今は少し、無理がある)

今回は、「飯島流:若さの秘訣」の一つを、是非ご紹介したい。

すばりそれは、「初体験を楽しむこと」にある。
遠い昔、殆どの人が涙した、あの時の初体験の感動！！
あの心の喜びを、今でも、そしてこれからも、ずーっと感じていたい！！
これを実践することが、若さを維持する秘訣の一つであると、僕は信じている。

ここまで読んで、変に誤解している人、いる筈だ。残念ながら、さにあらず...である。
実は、「初体験」には色々あるのだ。
新しい知識を習得できた...、生まれて初めて食べてみた...、初めてエクセルができた...、
この人と初めてお会いした...、資格取得にチャレンジ...然り、
初めての出会い、初めての経験、初めての体験、自分にとって「初めて」は無数にある。

この初体験を、今年、今月、そして今週は何回出来たか、
是非、メモリアル初体験:「初体験手帳」を書いてみて頂きたい。

メモリアル初体験が一つづつ記録されるごとに、心はウキウキしてくる。
初体験が増えれば増えるほど、自分が進化したように思えてくる。
片方で間違いなく加齢を重ね、老いに向かう自分がいるにもかかわらず
確実に、それを上回る進化を目指す姿、
そんな自分を容認できる喜びは、
きっと、若返りの秘訣だと思っている。